

二〇二二年度入学試験問題

国 語

試験日 二〇二二年二月四日(金曜日)

開始時刻 午後一時

終了時刻 午後二時

注 意 事 項

- 一、この冊子は二十ページです。落丁、乱丁、印刷の不鮮明などがあった場合には申し出てください。
- 二、解答はかならず解答用紙(マークシート)の指定されたところの番号をマークしてください。
- 三、解答用紙の受験番号欄には、かならず受験番号(七ケタ)を記入し、その番号をマークしてください。
- 四、解答用紙への記入は黒鉛筆を、解答を消す場合は、プラスチック消しゴムを使用してください。
- 五、解答用紙は試験が終了したら、かならず提出してください。
- 六、試験室内で配付された問題用紙は、持ち帰って結構です。

一

の問題については、著作者より作品の二次使用について、許諾が下りていないため掲載していません。

二

次の文章を読み、後の問に答えなさい。なお、設問の都合上、表記を改めたところがある。

経済学の「専門性」とはいつたいどこに求められるのだろうか。経済学を含む「社会」科学は、どのように「専門的に」社会を分析し、社会に貢献するのか。

古典派経済学の時代には、ニュートン力学が物質世界の普遍法則とされ、イマヌエル・カントの時間・空間の認識哲学がそれを支えていた。古典派経済学もまた、このような同時代の認知パラダイムを前提として、経済も、バランスの取れた状態では自然界のバランスに近づくとした（ただし同時に、自然界とは異なる人間社会の独自の領域として、倫理や道徳感情などの世界も想定されていた）。

古典派経済学を否定したマルクスもまた、科学という観点からは典型的に一九世紀的な思想家だった。科学に強い信頼をよせ、みずからの社会主義体系を科学的として先行研究と区別した。同時代にはチャールズ・ダーウインが『種の起源』を著し、生物学や遺伝学のみならず、経済学にも大きな影響を及ぼした。ところが二〇世紀の初頭になると論理学・哲学の分野において、その論理・命題の構造や妥当性が根底から問い直された。アインシュタインは相対性理論を提示し、経済学が基盤としていたそれまでの物理学の核心部分から、時間・空間の認識を根本的に覆した。自然科学も [A] ではないことが緻密な論理によって示されたのだ。かくして、以後、常識的な感覚としてさらっと倫理について語るのは、むしろ自然科学者たちとなった。

(1) 社会科学はこの事態にどう対峙できるのだろうか。

経済の運営にも自然科学と同じく技術的な側面があることは間違いない。技術的処方によって特定の問題を解決する工学的な側面もある。ジョン・メイナード・ケインズが言ったとおり、「経済学者は歯医者のような存在」であるのがよいのかもしれない。つまり傷んだ部分をその都度、発見し、いま持てる技術と物質によって修繕、改善するのである。

だがしかし、人間も社会も、そのすべてを数値、論理に還元することなどはできないし、計算どおりに動かすことなど不可

能だ。さらに加えて、その技術を実際に用いるのもまた同じ人間社会であることも忘れてはならない。一国の「ア」力を束ねる官僚（テクノクラート）組織は、技術の開発、方向付け、計画から実施に至るまで、ほぼ常に政治的な決定とともにある存在である。すなわち経済学も、不可避的に科学技術がはらむ政治性を考慮に入れざるを得ないのだ。

結局、今なお「主流」とされる自由主義経済学の潮流は、「イ」とはあたかも無縁のような振りをして、次第に「ウ」に服従してゆき、あげく、もっぱら貨幣という数量的価値の辻褄を合わせようとする計算高く小賢しい優等生に墮してしまった。だがしかし、その同じ時期に、ひとが生きることをもっと野太く掴む経済学を求めて格闘した論者たちもまた、少なからず、そして継続的に存在した。

そのような、人間の生存という観点から経済を熟考した一人にウイーン生まれのカール・ポランニー（一八八六―一九六四年）がいる。一九世紀後半以降、ウイーンが世界都市となり、さまざまな頭脳が結集するなか、自然科学者と社会科学者は密接に交流しながら研究を進めていた。経済学は、「価値」という中心的課題を徐々に手放していったが、ポランニーは自由主義経済学とマルクス主義の両方を学び、社会主義者を自任して、経済と社会、科学のかかわりについて考えた。晩年にはアメリカ大陸にわたり、市場的自由主義経済は「生きること・暮らすこと」を犠牲にして、「右肩上がりの進歩」を押し進めると批判して、経済人類学という学問分野を拓いた。その思想は、人間は資源でも商品でもないという信念、価値観に貫かれている。（中略）

もちろん、ここで扱うすべてがポランニーに直接、影響したものであるわけではない。またポランニーの思想が、二一世紀の現代世界をすべて見越していたわけでもない。変化のテンポは加速し、特にここ数十年は、おそらくかれが想像もしなかったであろう事態が矢継ぎ早に起きている。さらにいえば、ポランニーは書きぶりがややギョウギョウしく、またいかにも「善い人」すぎて、人間中心主義的な「B」に拗めとられてしまっているところもある。それでもなお、人間の生死の根本を凝視したかれの思考のキセキと展開をたどることは重要である。

ポランニーおよび、かれが影響を受け、また与えた人びとの思想を繙くとき、経済学、あるいは社会科学全般における専門

性とは、究極的には、「人間や社会とはなにか」をつきつめて考えることにあるとわかる。ものや技術に関わる人びとの心を支えているのも、それが社会で活かされる姿を想像するという、人としての力である。生きていく力、人間を見つめ、見抜く力には、あえていうなら一つの専門性として（それを持つ人はたいいてい謙虚であり、専門性などといえば一蹴いっしょくされそうだが）、もつと敬意が払われてよいのではないか。

（中山智香子『経済学の墮落を撃つ―「自由」vs「正義」の経済思想史』より）

問一 空欄 A に入る最適な語句を一つ選び、その番号をマークしなさい。解答欄は 11。

- ① 偶有的、蓋然的
- ② 個別的、具体的
- ③ 法則的、現象的
- ④ 主体的、能動的
- ⑤ 絶対的、普遍的

問二 傍線部(1)「経済の運営」とあるが、経済の運営のどのような点を筆者は批判しているのか。その説明として最適なものを選び、その番号をマークしなさい。解答欄は 12。

- ① 世界を科学的に分析し、効率的に取り扱おうとしたのだが、徹底的に行うことができなかった点。
- ② 人間という存在を資源や商品として捉えたいうで、貨幣で数量的に価値を判断しようとしていた点。
- ③ 自然科学のように人間を論理的に捉えようとしたが、その論理が科学的に否定されてしまった点。
- ④ 人間としての常識的な感覚を無くしてしまい、倫理について語ることができなくなってしまった点。
- ⑤ 人間も社会もすべてを法則的に取り扱おうとしたのだが、その法則が正しいものではなかった点。

問三 空欄ア、イ、ウに入る語の最適な組み合わせを選び、その番号をマークしなさい。解答欄は 13。

- | | | | |
|---|------|------|------|
| ① | ア 科学 | イ 政治 | ウ 社会 |
| ② | ア 技術 | イ 政治 | ウ 科学 |
| ③ | ア 政治 | イ 科学 | ウ 社会 |
| ④ | ア 技術 | イ 科学 | ウ 計画 |
| ⑤ | ア 科学 | イ 科学 | ウ 計画 |

問四 傍線部(2)「カール・ポランニー」とは、どのような人か。その説明として最適なものを選び、その番号をマークしなさい。

い。解答欄は 14。

- ① 先見の明を持っており、一九世紀から二〇世紀に生きていながら二二世紀の社会について憂えていた人である。
- ② とてもしたたかで、自然科学者からも社会科学者からも知識を借り、学際的な研究をおこなおうとした人である。
- ③ かつて今も経済学の主流である自由主義経済学ではなく、マルクス主義を学び、社会を考えようとした人である。
- ④ 市場的自由主義経済で前提とされる人間の捉え方を批判し、経済学の新たな分野を築き上げた人である。
- ⑤ とても善い人で、経済学者として評価されただけでなく、人間としてもみんなから慕われ評価された人である。

問五 傍線部(3)「右肩上がりの進歩」とあるが、これはどういう意味か。その説明として最適なものを選び、その番号をマークしなさい。解答欄は 15。

- ① 給料だけに価値を置き、発展していくという意味。
- ② 科学的な方法に依存し、進んでいくという意味。
- ③ 時を追うごとに数値が上昇していくという意味。
- ④ 組織内の限られた人が業績を伸ばしていくという意味。
- ⑤ 知識を結集して、社会をよくしていくという意味。

問六 空欄 B に入る最適な語句を一つ選び、その番号をマークしなさい。解答欄は 16。

- ① ポピュリズム
- ② ヒューマニズム
- ③ モダニズム
- ④ エゴイズム
- ⑤ ナシヨナリズム

問七

波線部「経済学の「専門性」とはいつたいどこに求められるのだろうか」とあるが、筆者はそれをどこに求められると考えているのか。その説明として最適なものを選び、その番号をマークしなさい。解答欄は 17。

- ① 科学万能主義を否定し、より効率的で生産性の高い社会を作り上げていくところ。
- ② 社会科学だけではなく自然科学からもアプローチすることで、業績を伸ばすところ。
- ③ 理論的に人間を捉えるだけではなく、人間の生死について倫理的に考察するところ。
- ④ 人が生きていくことに価値の中心を置いて、人間や社会とはなにかを考えるとところ。
- ⑤ 何事も損得だけで計算するのではなく、心理的側面からも人間を捉えていくところ。

問八

本文の内容に合致するものを一つ選び、その番号をマークしなさい。解答欄は 18。

- ① 古典派経済学を否定し、社会主義体系を構築したマルクスは、科学を信奉していなかった。
- ② 人間を見つめ、見抜く力をもっている経済学は、倫理的にも敬意が払われている学問である。
- ③ ケインズが考えたようには現実社会は動かなかつたため、経済学の世界では評価されていない。
- ④ 『種の起源』を著したダーウィンは、社会科学ではなく自然科学の分野に大きく貢献した。
- ⑤ 古典派経済学は、同時代における物理学や哲学の思考の枠組みを前提として考えられていた。

問九

①「ギョウギョウしく」、②「キセキ」の波線部と同じ漢字を含むものをそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークしなさい。解答欄は①が 、②が 。

① みるみるギョウソウが変わる

② イギョウを成し遂げる

③ 思いがギョウシユクする

④ ギョウギ作法を身につける

⑤ びっくりギョウテン

① 彼はキが利く人だ

② 改革のキが熟する

③ 少しキまじめ過ぎる

④ キ道を修正する

⑤ 事実は小説よりキなり

三

次の各問に答えなさい。

問一 誤字を含むものを一つ選び、その番号をマークしなさい。解答欄は 。

- ① 社長は部下の進言など全く意に介することはなかった。
- ② 国家の機密に通曉しているかのように振る舞った。
- ③ 古代から連面と続く呪物崇拜を知りたいと渴望した。
- ④ 大団円で終了した演劇に拍手喝采が送られた。
- ⑤ 彼は人情の機微に通じず、世情に疎い男である。

問二

(1)、(2)について、誤った読み方のものをそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークしなさい。解答欄は(1)が 、

- | | | | |
|-----|------------|-------------|--------------|
| (1) | ① 如才(じよさい) | ② 汎用(ほんよう) | ③ 雑穀(ざっこく) |
| | ④ 逐次(ちくじ) | ⑤ 世相(せそう) | |
| (2) | ① 反らす(そらす) | ② 設ける(もうける) | ③ 滴らす(したたらす) |
| | ④ 創る(かたどる) | ⑤ 跳ねる(はねる) | |

問三 慣用句として () に入る言葉が「 」にない文を一つ選び、その番号をマークしなさい。解答欄は

24。

【けがす・あずける・かなう・きる・しずめる】

- ① 眼鏡に ()。
- ② 下駄を ()。
- ③ 火蓋を ()。
- ④ 末席を ()。
- ⑤ 命脈を ()。

問四 傍線部の言葉の使い方が適切でない文を一つ選び、その番号をマークしなさい。解答欄は 25。

- ① 彼は借金を返せなくて、泣きを入れてきた。
- ② 年端もいかない老人は大切に扱うべきである。
- ③ 入選するとは、彼も隅に置けない才人だ。
- ④ 先輩のひそみに倣って絵を描き始めました。
- ⑤ 恋愛に身を焦がす男女を描いた名作である。

問五 傍線部の言葉の使い方が適切でない文を一つ選び、その番号をマークしなさい。解答欄は

26。

- ① 私はしががないサラリーマンである。
- ② 彼の無粋な話に鼻白む思いである。
- ③ 重大な発言に会場は色めき立った。
- ④ 人家が森の中にひっそりとたじろぐ。
- ⑤ 彼の無作法を穏やかにたしなめた。

問六 対義語の関係になっていないものを一つ選び、その番号をマークしなさい。解答欄は

27。

- ① 罪過 ⇄ 功績
- ② 卑下 ⇄ 高名
- ③ 解散 ⇄ 結成
- ④ 無知 ⇄ 博識
- ⑤ 大切 ⇄ 粗末

問七 同義語の関係になっていないものを一つ選び、その番号をマークしなさい。解答欄は

28

- | | | | |
|---|----|--|----|
| ① | 利口 | | 賢明 |
| ② | 真価 | | 本領 |
| ③ | 低俗 | | 下劣 |
| ④ | 臆病 | | 気長 |
| ⑤ | 末期 | | 臨終 |

問八

㉑、㉒のカタカナの部分と同じ漢字を使うものを、それぞれ一つずつ選び、その番号をマークしなさい。解答欄は㉑が

29

、㉒が

30

㉑ 栄枯セイ衰

① セイ廉潔白

② セイ大な拍手

③ 少数セイ鋭主義

④ 憲法をセイ定する

⑤ 形セイが逆転する

㉒ フン骨碎身

① フン末ジユース

② フン争地带

③ フン火の予知

④ 孤軍フン闘

⑤ 義フンを感じる